

2025（令和7）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493100588	事業の開始年月日	令和2年10月1日
		指定年月日	令和2年10月1日
法人名	株式会社リビングプラットフォームケア		
事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野		
所在地	(234-0051) 横浜市港南区日野6-6-5		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	27名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和7年11月11日	評価結果 市町村受理日	令和8年3月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

みな笑顔で過ごせる事業所を目指しています。
ご入居様が安全・安心に暮らせることをモットーに、日々の生活を楽しく過ごせるよう努力してまいります。そのために職員が安心・安全に働けるような風通しのよい環境を作り、職員が笑顔になり、そして、ご入居者様にやさしく笑顔で接していけるよう努めてまいります。
また、その笑顔を見て、ご家族様も笑顔になれるよう、連絡を密にしてご家族が訪問しやすい環境を作ってまいります。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和7年12月5日	評価機関 評価決定日	令和8年3月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は地下鉄ブルーライン「港南中央」駅からバス「野庭中央公園行き」に乗車、「公務員住宅入口」下車、徒歩5分の場所に位置しています。住宅街の坂地に建つ、3ユニット定員27名のホームです。

<優れている点>

各種会議の内容を充実させ、その成果を日常の支援へと確実につなげています。各階ともにレジュメの作成から当日の協議、議事録のまとめまでを一貫して行い、カンファレンスでは計画作成担当者を中心に入居者の意見を収集してニーズに基づいた課題を明確にしています。解決すべき課題に対しては、長期・短期別に目標を設定した上で、杖を使用した安全な歩行訓練や気分転換を図る散歩、週末の外泊など、日々のサービスに具体的に展開して入居者の安心安全な生活を支えています。また、職員の意欲を引き出す支援体制を整えており、法人の資格取得支援制度を通じて受講費や交通費の補助、資格手当の支給などを常勤・非常勤を問わず細やかにを行っています。特定技能実習生への丁寧な説明や支援も継続しており、職員全体の活力向上につなげています。

<工夫点>

職員の成長を可視化するため、社内研修制度と連動させた「4段階評価システム」を運用しています。ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナの段階を設けて研修の成果を評価し、職員一人ひとりのやりがいや、より良いケアへの意欲向上を促しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに ○ 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている ○ 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方々が安心・安全に楽しく生活を過ごして頂くため、感謝の気持ちを忘れず、サービスに創意工夫を凝らして、提供しています。	入居者の安心安全は、働く職員自身の安心安全を確保することから始まると管理者は説いています。職員の笑顔づくりを第一に考え、管理者は自ら各階へ日に3回以上顔を出すことを決めて実践しています。レクリエーションの企画にも職員が率先して参加し、活気ある環境づくりに励んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	今年も日程が合わず、盆踊り、防災訓練等参加できませんでしたが、運営推進会議を約5年ぶりに、地域の方々、地域包括、ご家族参加で行い、地域との連携を図っていくよう話し合いました。	地域活動の再開に向け、4月から9月の間、職員会議で具体策を協議しています。管理者の着任挨拶を兼ねた地域ケアプラザへの訪問や、町内会長への相談などを通じて地域との連携を深めています。紹介を受けた傾聴やギター、ハーモニカ演奏のボランティアを招き、入居者が楽しむことのできる機会をつくっています。	施設の見学受け入れを計画しています。今後は認知症啓蒙活動の一環として、地域住民の参加を積極的に推進し、地域の相互交流につながることなどが期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	具体的な行動はできておりません。散歩をするときに挨拶をする程度です。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	10月25日、町内会長さん、民生委員さん、地域包括の職員さん、ご家族の参加された運営推進会議を再開いたしました。	5年ぶりとなる対面形式での運営推進会議を再開しています。職員会議での準備を経て開催を継続し、会議の場では事業所見学を提案しています。町内会長や民生委員の賛同を得て、1日3人程度の受け入れを想定した事前予約制による見学計画を推進しており、地域に開かれた運営を目指しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	必要事項に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取り合っております。	横浜市の業務車両助成による社有車の廃車処理について、担当部門へ相談し、適切に実施しています。おむつの支給補助や生活保護受給者の諸手続きなど、港南区役所の担当者と連携して実務を進めており、行政制度を活用するための体制づくりに努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な自社内のWEBでの研修や検討会で身体拘束本来の意味を理解していただき、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めていただくことを重視しております。	身体拘束廃止委員会を年2回開催し、厚生労働省の「身体拘束の3原則」や「身体拘束ゼロへの手引き」を用いて理解を深めています。早朝など、多くの入居者が同時に起床する時間帯の対応や、複数が同時に立ち上がった際の具体的な声かけについても検証を重ねており、拘束に頼らない安全なケアの実現に取り組んでいます。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をしていただくよう話をしております。	虐待防止委員会を年2回開催し、虐待の5つの区分の理解や不適切ケアの具体的な事例について学びを深めています。入居者の一連の動きを無理に止めないよう、職員同士で適切な声かけを行うよう心がけています。また、ストレスケアについても学び、日頃から心理的な負担を溜め込まない安定した職場環境の構築に注力しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性、ご希望があればその都度、ご提案させていただいております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。ご不明な点等はご契約時や、事後のご連絡にてご説明し、ご納得いただいております。初回のご説明時はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者およびケアマネや職員がご本人・ご家族の意向をしっかりとくみ取り、当社本部・行政機関も窓口としてあることをお伝えしております。	管理者を中心に、面談や電話、メールなど様々な手段を通じて家族の意見を幅広く聞き取っています。外来受診の同行に関する要望に対しては、迎える時間に合わせた携行品の手配や医療関係書類の準備を確実にするなど、柔軟な対応を継続しています。家族の意向を受け止め、日々の支援の質を高めるための体制維持に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。	月1回のフロア会議や日々の申し送りに加え、リーダー会議や夜勤会議を開催しています。会議に先立ってレジュメを作成し、当日の協議内容を議事録でまとめる仕組みを運用しています。内容に応じて参加者を限定することで議論の効率化を図り、リーダー会議では働きやすい職場づくりに向けた意見交換を活発に行い、現場の声を運営に活かす体制を整えています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得支援を行い、取得後は職場内で活かせる環境づくりに努めています。また、直上のエリア長と密に連絡を取っており、職員が向上心を持って働けるよう努めています。	法人の介護資格取得支援制度を活用し、受講費や交通費の補助に加えて資格手当を支給するなど、常勤・非常勤問わず細やかな支援をしています。働きやすい職場づくりの一環として、特定技能実習生には消耗品の取り扱い事項やレクリエーションの進行手順などを丁寧に説明しています。職員一人ひとりが安心して実務に専念し、能力を発揮できる環境の維持に努めています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っております。	社内研修計画に基づき、テーマ別の研修を毎月継続して実施しています。受講した職員は報告書を作成し、学びの内容を確実にアウトプットしています。職員の意欲を支える独自の「4段階評価システム」を社内研修制度と連動させて運用しており、研修成果を具体的なステップアップとして評価することで、日々の業務におけるやりがい向上につなげています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内がの研修や講習会の周知を行い、参加していただく機会を作っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず面談を行っており、しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困りごとや要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	しっかりとお話をお伺いすることでご家族様との関係性の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族様と今後良い関係性継続のため、ご要望を伺いながら可能な限り柔軟に対応を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自分でできることは行っていただくよう支援しております。食事の盛り付けや洗濯物たたみ等をいっしょに行っております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れるように支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れるように支援しております。	家族の訪問頻度は月1回以上が5割を超えており、良好な関係性を維持しています。訪問が少ない家族に対しては、手紙の送付やインスタグラムによる情報発信を行い、入居者の様子を共有しています。訪問時の面談では丁寧な応接に努め、日々の生活状況を伝えるとともに、外出や外食の提案をさりげなく行うなど、家族と入居者が共に過ごす機会づくりを促進しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れるようにお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居の方同士の社会性の維持・向上に努めております。孤立している方がいましたら、居室替えなども含め実施する場合があります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて、また、御用部に応じその都度対応しております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お話を傾聴し、ご希望・要望を伺い、ご希望・ご意向に沿った支援をしております。	介護計画を作成する際、介護支援専門員が毎回直接入居者と対話し、本人の思いや意向を聞き取っています。同時に現場職員からも日頃の様子を収集して入居者の思いを把握し、計画への反映に努めています。また、家族からも意見を募ることで多角的な視点を取り入れ、本人にとって最適な支援を目指しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話をしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努め、申し送り等で情報共有に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の生活の中でご本人やご家族の方と話をさせて頂き、また、職員の報告を聞き、ケアマネジャーが取りまとめをして作成しております。	介護計画は3ヶ月および6ヶ月ごとに短期・長期の計画を作成しています。3ヶ月ごとに介護支援専門員が現場職員からモニタリングを行い、現状に即した見直しを継続しています。入居者の状況に応じて看護師から医師へ連絡し、医師の指示を計画に組み入れています。薬剤の形態変更についても、変更の都度医師の指示を仰ぎ、安全な服薬支援体制の構築に努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	タブレット端末への入力、手書きの記録を作成し、必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人・ご家族のご要望を聞き、また観察を行ってニーズを把握し、必要に応じて柔軟な対応を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣が坂道なので、徒歩での散歩はできる方が限られるので、広い駐車場を活用し、天気の良い日は散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に協力医療機関・薬局への切り替えをお願いしております。	内科については、協力医による月2回の診察を受けています。泌尿器科や眼科、整形外科、精神科などの専門科目については家族と共に外部受診を行い、診断結果を管理者へ報告する体制を運用しています。管理者は、聞き取った内容を介護支援専門員や看護師、リーダーと共有し、入居者一人ひとりの心身の状態に合わせた介護支援に活用しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設勤務の看護職員（2/週）がご入居者様の状態を把握しております。必要時に相談し、指示を受けています。また、訪問診療の看護職員ともオンコールでつながっており、必要時、相談しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様と連絡を取り合い、ご病状や退院の目途などの把握に努めております。また、退院時、情報を確認し、引継ぎを行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医と状態を共有し、主治医から話がある場合には、看護師から連絡し、必要時にはご家族様に来所していただき、主治医から直接話をさせていただいております。	入居時に看取りに関する説明を行い意向を確認していますが、状況の変化に応じて改めて意向の再確認をしています。入居者が施設での看取りを希望する場合は、主治医や家族、施設間で契約を締結し、方針を共有しています。介護記録を時系列に沿って記録し、バイタルサインの推移に注視しながら、看護師や管理者、リーダーが中心となって最期までその人らしい生活を支えるケアに励んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、施設長、ベテラン職員がついて、しっかりと実践行動はできております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練や防災訓練をじっしいております。夜間想定避難訓練が出来ていないため、来年2月に実施する予定です。	消防設備会社の立ち会いのもと、年2回の避難・防災訓練を継続しています。訓練の場では消火器の操作手順などの習得に努め、いざという時に備えています。災害発生時には、状況に応じて入居者をベランダや玄関の道路側へ安全に誘導する避難体制を整えており、迅速に対応できるよう周知しています。	災害時に地域からの支援を受けられることができるよう、避難訓練、防災訓練等に地域の方の参加が望まれます。また、備蓄品は用意してありますが、賞味期限等が記載された備蓄品リストの作成が望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の中で気づいたことは職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。	職員は入居者を敬うべき存在ととらえ、尊敬の念を込めた言葉遣いをしています。排泄介助の際は、トイレや居室のドアを必ず閉めてプライバシーを確保し、誘導時には周囲に配慮した控えめな表現で語りかけるなど、自尊心を守る丁寧な関わりをしています。入居者の人格を尊重し、安心感のある心地よい環境づくりに努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	こちらからの押し付けではなく、ご本人様のお話を傾聴し、希望や意向に沿って、自己決定するお手伝いしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	就寝時間、起床時間、入浴などお声掛けをさせていただく中で気分が載らなかつたり、不穏気味の場合は、時間を変えたり、担当者を代えるなど、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分でできる方はご自分で服を選んでいただく、お化粧品をしていただき、お一人で難しい方は職員と一っしょにさせていただきます。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の後片付けなどを職員と一緒にしていただき、おやつは、ケーキ作りなど職員と一っしょに行う、移動パン屋でパンを選んでいただくなど、の支援を時々行っております。	入居者の身体状況に合わせて、食事の盛り付けや食器の後片付けなどを共に行い、日々の生活に役割や達成感を持てるよう支援しています。月に一度の誕生日会などの行事では、ホットケーキミックスを用いたおやつ作りを実施しています。クリームや果物、あんこなどのトッピングを入居者自身で行う機会を設け、彩りや選ぶ楽しみを味わえる工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し、栄養士の指導の下、その方に合った食事量等を提供しています。また、租借や嚥下の状態を把握して、その方に合った食事形態を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声掛けを行っております。歯科医師とも連携し、スポンジブラシ、入れ歯安定剤等必要なものを使用し、ご自分で難しい方はお手伝いをしています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツの使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座っていただけるよう誘導をおこなっております。尿量を確認しながらパットの枚数等ご本人様の自立支援を行っております。	立位を保持できる入居者に対しては、トイレでの排泄を支援しています。排泄のタイミングを掴むことが難しい入居者には、定時や活動の切り替え時に合わせたトイレ誘導をしています。また、日々の体操や散歩を通じて体幹の筋力維持を図り、一人ひとりがトイレでの排泄を継続できるよう、身体機能の低下防止に向けた働きかけを強化しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多くとっていただくように声掛けを行うとともに、状態を看護師に伝え、下剤の調整を行っています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿う様に努めています。	週2回の午前入浴を実施していますが、午後入浴を希望する入居者に対しては、人員状況に合わせて柔軟に応じるよう努めています。立位の保持が難しい入居者には、シャワー浴や足湯を通じて少しでも心地よい時間を過ごせるよう支援しています。また、入浴剤を活用して季節感や変化を取り入れ、心身ともにリフレッシュできる環境づくりをしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中の静養などご本人の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人の状態を確認し、処方された服薬の情報を確認し、医師、看護師、薬剤師に状態を伝え、連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片づけや食後の食器の片づけ等、今までの生活歴やご経験を活かしていただいております。また、室内での塗り絵やパズル等は毎日、駐車場で家庭菜園などは季節ごとの行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設の周りが坂道のため、歩ける方は外での散歩を、無理な方は駐車場で散歩をスタッフ付き添いで行っております。また、ご家族との外出をされている方もいらっしゃいます。	施設の駐車場を活用し、日々の散歩や気分転換を図る機会を設けています。車いすを使用する入居者も外の空気を味わい、季節の変化を感じられるよう、共に駐車場で散歩を楽しむ時間を大切にしています。歩行が安定している入居者に対しては、近隣のコンビニエンスストアまで足を延ばし、自ら品物を選ぶ買い物の楽しみを継続できるよう支援しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当施設では、ご利用者様の現金はお預かりしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額の金銭をご家族了承のもと、自己管理にて行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族からの手紙はご利用者様にお渡ししています。大変喜ばれております。また、返信を書かれるときは支援を行っています。	/		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	テレビやDVDの音など、状況に応じて調整を行い、ご利用者様の不快にならないよう努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。また、季節感を出した壁紙づくりを利用者様といっしょに行い、それをフロアに貼っております			各階には車いすが円滑に移動できる広いリビングを配し、適切な明るさや室内温度を維持することで、入居者が快適に過ごせる環境づくりに努めています。ソファの配置は、外の景色を眺められるよう窓際に設置したり、中央でテレビを見ながら気分転換を図れるようにしたりと、各階の状況に合わせて工夫しています。また、壁面には入居者と職員が毎月制作する作品を掲示し、季節感あふれる温かい空間となるようにしています。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々とそばになるよう配慮しています。お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごしいただいております。	/		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居に当たり、ご自身が慣れ親しんだ品物や家具をお持ちいただいております。また、ほしいもの、必要なものはその都度ご家族様が持ってこられています。			居室にはエアコン、ロッカー、ベッドを標準装備していますが、机やいす、仏壇、ラジオなど、入居者がこれまで大切にしてきた品々の持ち込みを幅広く受け入れています。配置の際は、ドアからベッドまでの歩行動線を確実に確保し、安全に過ごせるよう配慮しています。毎日の清掃を徹底することで室内を常に清潔に整え、一人ひとりが自分らしく、心地よく過ごせる空間の維持に努めています。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居様の方に合わせたものとなっております。この施設での生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごしいただける様に努めております。	/		

事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに ○ 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている ○ 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方々が安心・安全に楽しく生活を過ごして頂くため、感謝の気持ちを忘れず、サービスに創意工夫を凝らして、提供しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	今年も日程が合わず、盆踊り、防災訓練等参加できませんでしたが、運営推進会議を約5年ぶりに、地域の方々、地域包括、ご家族参加で行い、地域との連携を図っていくよう話し合いました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	具体的な行動はできておりません。散歩をするときに挨拶をする程度です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	10月25日、町内会長さん、民生委員さん、地域包括の職員さん、ご家族の参加された運営推進会議を再開いたしました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要事項に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取り合っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な自社内のWEBでの研修や検討会で身体拘束本来の意味を理解していただき、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めていただくことを重視しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をしていただくよう話をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性、ご希望があればその都度、ご提案させていただいております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。ご不明な点等のご契約時や、事後のご連絡にてご説明し、ご納得いただいております。初回のご説明時はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者およびケアマネや職員がご本人・ご家族の意向をしっかりとくみ取り、当社本部・行政機関も窓口としてあることをお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得支援を行い、取得後は職場内で活かせる環境づくりに努めています。また、直上のエリア長と密に連絡を取っており、職員が向上心を持って働けるよう努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内での研修や講習会の周知を行い、参加していただく機会を作っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず面談を行っており、しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困りごとや要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	しっかりとお話をお伺いすることでご家族様との関係性の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族様と今後良い関係性継続のため、ご要望を伺いながら可能な限り柔軟に対応を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自分でできることは行っていただくよう支援しております。食事の盛り付けや洗濯物たたみ等をいっしょに行っております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れるように支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れるようにお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居の方同士の社会性の維持・向上に努めております。孤立している方がいましたら、居室替えなども含め実施する場合があります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて、また、御用部に応じその都度対応しております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お話を傾聴し、ご希望・魏要望を伺い、ご希望・ご意向に沿った支援をしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話をしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努め、申し送り等で情報共有に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の生活の中でご本人やご家族の方と話をさせて頂き、また、職員の報告を聞き、ケアマネジャーが取りまとめをして作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	タブレット端末への入力、手書きの記録を作成し、必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人・ご家族のご要望を聞き、また観察を行ってニーズを把握し、必要に応じて柔軟な対応を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣が坂道なので、徒歩での散歩はできる方が限られるので、広い駐車場を活用し、天気の良い日は散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に協力医療機関・薬局への切り替えをお願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設勤務の看護職員（2/週）がご入居者様の状態を把握しております。必要時に相談し、指示を受けています。また、訪問診療の看護職員ともオンコールでつながっており、必要時、相談しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様と連絡を取り合い、ご病状や退院の目途などの把握に努めております。また、退院時、情報を確認し、引継ぎを行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医と状態を共有し、主治医から話がある場合には、看護師から連絡し、必要時にはご家族様に来所していただき、主治医から直接話をさせていただいております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、施設長、ベテラン職員がついて、しっかりと実践行動はできております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練や防災訓練をじっしいております。夜間想定避難訓練が出来ていないため、来年2月に実施する予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の中で気づいたことは職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	こちらからの押し付けではなく、ご本人様のお話を傾聴し、希望や意向に沿って、自己決定するお手伝いしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	就寝時間、起床時間、入浴などお声掛けをさせていただく中で気分が載らなかつたり、不穏気味の場合は、時間を変えたり、担当者を代えるなど、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分でできる方はご自分で服を選んでいただく、お化粧品をしていただき、お一人で難しい方は職員と一緒に行わせていただいております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の後片付けなどを職員と一緒にさせていただき、おやつは、ケーキ作りなど職員と一緒に行う、移動パン屋でパンを選んでいただくなど、の支援を時々行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し、栄養士の指導の下、その方に合った食事量等を提供しています。また、租借や嚥下の状態を把握して、その方に合った食事形態を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声掛けを行っております。歯科医師とも連携し、スポンジブラシ、入れ歯安定剤等必要なものを使用し、ご自分で難しい方はお手伝いをしています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツの使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座っていただけるよう誘導をおこなっております。尿量を確認しながらパットの枚数等ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多くとっていただくように声掛けを行うとともに、状態を看護師に伝え、下剤の調整を行っています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿う様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中の静養などご本人の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人の状態を確認し、処方された服薬の情報を確認し、医師、看護師、薬剤師に状態を伝え、連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片づけや食後の食器の片づけ等、今までの生活歴やご経験を活かしていただいております。また、室内での塗り絵やパズル等は毎日、駐車場で家庭菜園などは季節ごとの行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設の周りが坂道のため、歩ける方は外での散歩を、無理な方は駐車場で散歩をスタッフ付き添いで行っております。また、ご家族との外出をされている方もいらっしゃいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当施設では、ご利用様様の現金はお預かりしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額のお金をご家族了承のもと、自己管理にて行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族からの手紙はご利用者様にお渡ししています。大変喜ばれております。また、返信を書かれるときは支援を行っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	テレビやDVDの音など、状況に応じて調整を行い、ご利用者様の不快にならないよう努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。また、季節感を出した壁紙づくりを利用者様と一緒に行い、それをフロアに貼っております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々とそばになるよう配慮しています。お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごしいただいております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居に当たり、ご自身が慣れ親しんだ品物や家具をお持ちいただいております。また、ほしいもの、必要なものはその都度ご家族様が持ってこられています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居様の方に合わせたものとなっており、この施設での生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごしいただける様に努めております。		

事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに ○ 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている ○ 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方々が安心・安全に楽しく生活を過ごして頂くため、感謝の気持ちを忘れず、サービスに創意工夫を凝らして、提供しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	今年も日程が合わず、盆踊り、防災訓練等参加できませんでしたが、運営推進会議を約5年ぶりに、地域の方々、地域包括、ご家族参加で行い、地域との連携を図っていくよう話し合いました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	具体的な行動はできておりません。散歩をするときに挨拶をする程度です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	10月25日、町内会長さん、民生委員さん、地域包括の職員さん、ご家族の参加された運営推進会議を再開いたしました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要事項に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取り合っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な自社内のWEBでの研修や検討会で身体拘束本来の意味を理解していただき、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めていただくことを重視しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をしていただくよう話をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性、ご希望があればその都度、ご提案させていただいております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。ご不明な点等のご契約時や、事後のご連絡にてご説明し、ご納得いただいております。初回のご説明時はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者およびケアマネや職員がご本人・ご家族の意向をしっかりとくみ取り、当社本部・行政機関も窓口としてあることをお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得支援を行い、取得後は職場内で活かせる環境づくりに努めています。また、直上のエリア長と密に連絡を取っており、職員が向上心を持って働けるよう努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内での研修や講習会の周知を行い、参加していただく機会を作っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず面談を行っており、しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困りごとや要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	しっかりとお話をお伺いすることでご家族様との関係性の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族様と今後良い関係性継続のため、ご要望を伺いながら可能な限り柔軟に対応を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自分でできることは行っていただくよう支援しております。食事の盛り付けや洗濯物たたみ等をいっしょに行っております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れるように支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れるようにお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居の方同士の社会性の維持・向上に努めております。孤立している方がいましたら、居室替えなども含め実施する場合があります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて、また、御用部に応じその都度対応しております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お話を傾聴し、ご希望・魏要望を伺い、ご希望・ご意向に沿った支援をしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話をしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努め、申し送り等で情報共有に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の生活の中でご本人やご家族の方と話をさせて頂き、また、職員の報告を聞き、ケアマネジャーが取りまとめをして作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	タブレット端末への入力、手書きの記録を作成し、必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人・ご家族のご要望を聞き、また観察を行ってニーズを把握し、必要に応じて柔軟な対応を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣が坂道なので、徒歩での散歩はできる方が限られるので、広い駐車場を活用し、天気の良い日は散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に協力医療機関・薬局への切り替えをお願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設勤務の看護職員（2/週）がご入居者様の状態を把握しております。必要時に相談し、指示を受けています。また、訪問診療の看護職員ともオンコールでつながっており、必要時、相談しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様と連絡を取り合い、ご病状や退院の目途などの把握に努めております。また、退院時、情報を確認し、引継ぎを行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医と状態を共有し、主治医から話がある場合には、看護師から連絡し、必要時にはご家族様に来所していただき、主治医から直接話をさせていただいております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、施設長、ベテラン職員がついて、しっかりと実践行動はできております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練や防災訓練をじっしいております。夜間想定避難訓練が出来ていないため、来年2月に実施する予定です。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の中で気づいたことは職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	こちらからの押し付けではなく、ご本人様のお話を傾聴し、希望や意向に沿って、自己決定するお手伝いしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	就寝時間、起床時間、入浴などお声掛けをさせていただく中で気分が載らなかつたり、不穏気味の場合は、時間を変えたり、担当者を代えるなど、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分でできる方はご自分で服を選んでいただく、お化粧品をしていただき、お一人で難しい方は職員と一緒に行わせていただいております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の後片付けなどを職員と一緒にさせていただき、おやつは、ケーキ作りなど職員と一緒に行う、移動パン屋でパンを選んでいただくなど、の支援を時々行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し、栄養士の指導の下、その方に合った食事量等を提供しています。また、租借や嚥下の状態を把握して、その方に合った食事形態を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声掛けを行っております。歯科医師とも連携し、スポンジブラシ、入れ歯安定剤等必要なものを使用し、ご自分で難しい方はお手伝いをしています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツの使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座っていただけるよう誘導をおこなっております。尿量を確認しながらパットの枚数等ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多くとっていただくように声掛けを行うとともに、状態を看護師に伝え、下剤の調整を行っています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿う様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中の静養などご本人の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人の状態を確認し、処方された服薬の情報を確認し、医師、看護師、薬剤師に状態を伝え、連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片づけや食後の食器の片づけ等、今までの生活歴やご経験を活かしていただいております。また、室内での塗り絵やパズル等は毎日、駐車場で家庭菜園などは季節ごとの行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設の周りが坂道のため、歩ける方は外での散歩を、無理な方は駐車場で散歩をスタッフ付き添いで行っております。また、ご家族との外出をされている方もいらっしゃいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当施設では、ご利用様様の現金はお預かりしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額のお金をご家族了承のもと、自己管理にて行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族からの手紙はご利用者様にお渡ししています。大変喜ばれております。また、返信を書かれるときは支援を行っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	テレビやDVDの音など、状況に応じて調整を行い、ご利用者様の不快にならないよう努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。また、季節感を出した壁紙づくりを利用者様と一緒に行い、それをフロアに貼っております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々とそばになるよう配慮しています。お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごしいただいております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居に当たり、ご自身が慣れ親しんだ品物や家具をお持ちいただいております。また、ほしいもの、必要なものはその都度ご家族様が持ってこられています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居様の方に合わせたものとなっており、この施設での生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごしいただける様に努めております。		

2025年度

事業所名 ライブラリ横浜日野
 作成日： 2026年 3月 15日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	施設の見学受入れを計画しています。今後は認知症啓蒙活動の一環として、地域住民の参加を積極的に推進し、地域の相互交流につなぐことなどが期待されます。	地域住民の施設見学を受け入れるため、まず、地域住民との交流を図っていく。	運営推進会議を通して、どのような方法で地域住民との交流を図るか、検討する。また、町内会の行事へこちらから参加し、交流を図っていく。	6ヶ月
2	35	災害時に地域からの支援を受けることができるよう、避難訓練、防災訓練等に地域の方の参加が望まれます。また、備蓄品は用意しておりますが、賞味期限等が記載された備蓄品リストの作成が望まれます。	避難訓練、防災訓練に地域の方が参加できるように工夫する。また、備蓄品リストを作成する。	まず、1～2名参加いただき、どのような方法で地域住民参加を図るか検討していく。また、町内会の防災訓練にも参加する。備蓄品リストの作成を行う。	6ヶ月